

## 2024年度 学校自己評価システムシート（秀明英光高等学校）

目指す学校像	常に真理を追究し、友情を培い、広く社会に貢献する人間形成を目的とする。
--------	-------------------------------------

重点目標	1 保護者の教育信託に応える教育を行う。
	2 生徒に学習の喜びを与え、確かな学力の定着を図る。
	3 生活指導の徹底。

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的な方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					学校関係者評価		
年度目標			年度評価（3月31日現在）			実施日 2025年4月9日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的な方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	教育理念を理解し、生徒が安心して学習できる学校づくりに専念している。一層徹底するための課題は次のとおりである。 ①授業の目的を理解させ、「考える力」を育てる。 ②学校と家庭との「共育」「協育」を進める。 ③希望する進路が選択できるよう指導する。	学習指導の充実と希望進路の実現	・「心の学習」を通して豊かな人間性を持った人物の育成を行う。 ・「武道」を必修とし、日本の伝統と礼儀作法を学ぶ。 ・保護者会を行い、学習面や生活面について十分な話し合いの場を設ける。 ・志望大学の過去問題演習を行って、学力の伸長を図る。 ・面接指導、小論文指導を学校全体で行う。	・保護者会、三者面談の状況。 ・「授業アンケート」結果の改善状況。 ・過去問題演習への取り組みと結果。 ・面接指導、小論文指導の結果。 ・進路実績。	・保護者会（2回）、三者面談（3回）を実施し多数の参加があった。 ・総合型選抜、学校推薦型選抜に向けて面接・小論文対策を積極的に実施した。 ・希望する進路が決定するように努め、上級学校への進学率は88%であった。	A	・昨年以上の参加を呼びかけ学校と家庭の「共育」「協育」「強育」を促進させる。 ・面接・小論文対策は組織的な計画を立て、引き続き全教員で実施する。 ・入試の動向を研究し「実力相応校」に満足せず、「目標校」「挑戦校」に合格するまで粘り強く指導する。
2	生徒に学習の喜びを与え、確かな学力の定着を図っている。一層徹底するための課題は次のとおりである。 ①到達度に応じた教科指導力を身につける。 ②週末課題の定着とノート学習の推進。 ③ホワイトボードやプロジェクトを用いた学習環境の中で学力の向上を図る。	授業の改善と指導力の向上	・「大学入試問題正解」を購入し、教科指導力を身につける。 ・授業アンケートを実施し、改善方法を考え実行する。 ・研修授業は、必ずテーマを明確にして行う。 ・毎週1回以上、他の教員の授業を見学し、授業観察記録を作成し、改善点をまとめる。 ・主体的、対話的で深い学びを実践する。	・大学入学共通テストだけでなく「全国大学入試問題正解」の問題を掌握。 ・年間5回の授業アンケートを実施。 ・年間2回以上の研修授業を実施。 ・毎週、他の教員の授業を見学し、授業観察記録を作成し、改善点をまとめる。	・大学入試問題正解などを利用し指導教科の学力向上に努めた。 ・「授業アンケート」を5回実施し授業の改善に努めた。 ・テーマを決めた研修授業を年間2回以上実施し、指導力の向上に努めた。 ・年間50コマ以上の授業を見学し改善に役立てた。	A	・次年度も「大学入試問題正解」などを利用し指導教科の学力向上に努める。 ・次年度も年間5回の授業アンケートを実施し、その結果をもとに授業の質を一層向上させる。 ・研修会での授業研究や参観を行い、授業方法の改善や技術を向上させる。
	多くの生徒を積極的に資格試験に挑戦させている。課題はより上位級を取得させることである。英語検定、漢字検定、数学椰定、ワープロ検定を実施する。	資格試験の受験	・英検は、朝のHRや放課後、週末課題等を活用して指導を強化している。 ・漢椰は、学力を見極めた上で、多くの生徒に受験させる。 ・1年生でワープロ椰定を実施。	・英検、漢椰への取り組みと取得状況の椰証。 ・その他の資格試験への取り組みとその結果。	・英検では、100%の生徒が受験した。 ・漢椰では、99.9%の生徒が受験した。	A	・次年度も学年全体で組織的に対策を行い、最後まで粘り強く指導し合格させる。 ・数学椰定や、ワープロ椰定にも、多くの生徒が受験するよう学年集会、HRで促す。
3	学校生活をよりよくすることを目標に生活指導を行っている。課題は次のとおりである。 ①基本的生活習慣の確立。 ②5つの約束の厳守。 ③「心の学習」の充実。 ④安全健康管理の徹底。	生活指導の充実	・頭髪、身だしなみの指導は、学年全体で行う。 ・いじめは、生活アンケートや面談の実施により、防止に努める。 ・親や先祖に対する謝意の心を育てる。 ・新聞記事を使い、「善と惡」「許せることと許せないこと」の区別、正しい判断力、思考力を身につける。 ・各種訓練の実施と定期的な安全点検の実施。	・頭髪検査は月1回、身だしなみの指導は隨時実施。 ・生活アンケート、面談の実施状況。 ・「心の学習」を通じて人間的成长を図る。 ・新聞記事の活用状況。 ・危機管理マニュアルに基づく各種訓練の実施。 ・サイバー犯罪防止、薬物乱用防止、非行防止等について集会・HRでの指導を実施。	・頭髪検査は学年集会で実施、身だしなみ指導は、毎朝の登校指導から始まり、隨時実施した。 ・「いじめゼロ宣言」を実践した。 ・担任との面談は週1回以上、生活アンケートは月に2回以上実施した。 ・各種訓練を実施した。HR単位での指導を実施した。	A	・学年集会での頭髪検査を継続し、身だしなみ同様、隨時指導する。 ・「いじめゼロ宣言」の継続。 ・次年度も新聞記事を活用し、正しい判断力を身につけるようにする。 ・週1回以上の面談、月2回以上の生活アンケートを継続する。 ・学年集会を実施し、自らを守る姿勢と正しい判断力と思考力を養う。